

広聴特別委員会記録

令和6年2月22日

【開催日】 令和6年2月22日（木）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時49分～午後3時28分

【出席委員】

委員長	森山喜久	副委員長	前田浩司
委員	奥良秀	委員	白井健一郎
委員	中島好人	委員	藤岡修美
委員	宮本政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

局長	河口修司	局次長	中村潤之介
----	------	-----	-------

【審査内容】

- 1 議会カフェについて
- 2 市議会モニターとの意見交換会について
- 3 その他

午後1時49分 開会

森山喜久委員長 ただいまから広聴特別委員会を開会いたします。なお、ホームページの資料につきましては、更新の都合上、若干遅れておるかもしれませんが、委員会は開催していきたいと思っております。付議事項1番、議会カフェについてです。資料を1枚めくっていただきまして、12月定例会の議会カフェの実績報告になります。本山地域交流センターでは5テーブルで22人、高千帆交流センターでは7テーブルで46人、1月

31日の有帆地域交流センターでは7テーブルで65人、厚陽地域交流センターでは5テーブルで36人、合計169人に参加いただきました。もう1枚めくっていただきまして、議会カフェのアンケート集計の中で、このたび、参加者が169人で、アンケート回収は166人でした。「議会カフェをどのようにして知ったのか」という問いで、市の広報、市のホームページ、SNS、その他LINE通知も含めて、議会カフェを知ったという方もいらっしゃる反面、147人の方々が議員からの紹介という項目にチェックされていまして、数字を拾い上げたのが、下記の表になります。以前の委員会で、私たち広聴特別委員は5人以上、その他の議員は3人以上を呼ぶということを周知させていただいた中で、全員がその目標を達成できたということが、この一覧表で分かると思います。今の実績報告とアンケート集計の件で、皆さんから確認したいこと、意見はございますか。

宮本政志委員 委員会資料で出とるんなら、市民の方は分かりやすいと思いますが、1枚目には二重丸と黒丸があるよね。これが、それぞれ何を示しているかを教えていただけていいですか。二重丸は何で、黒丸が何なのか。

森山喜久委員長 テーブル任務で進行された方が二重丸、記録及び発表をされた方が黒丸としております。

宮本政志委員 それと2枚目の資料で、どのようにお知りになりましたかについて、その他で12名おってよね。12名の詳細は分からんでいいんじゃないけど、大まかにその他ってどういったものがあるんですか。さっきLINEっておっしゃったけど、LINEはその他に入っとるんか、あるいはその他ってどういう項目があるのかが、分かりますか。

森山喜久委員長 全てじゃないですけど、SNSとその他のところに「LINE」って書かれた方もいらっしゃいました。チラシ、ポスターで見て来られ

たところと、あとそれぞれの自治会の役員会みたいなところで教えられたままで来たという方々で12人という形になります。チラシやポスターとあと自治会の役員でこういうのがあるぞというような案内があったとのこと。

白井健一郎委員 資料を見ての感想なんですけれども、まず人数から考えますと、3枚目ですかね、見た中では2枚目の後半ですけど、議員からの紹介が147名、ほかが30名ちょっとということで、ほかの人たちが結構多いなって思いました。2割ぐらいはね。議員からの紹介じゃなくて、自分がどこかから情報を得て、参加したって人も結構混ざっているんだなと思いました。要はみんな誰かの紹介じゃなくて、自分で興味を持ってきた人もいるから、その人なんかは結構厳しい意見を持つ確率が高いですよ。それはそう思います。それから1枚戻って、本山地域交流センター22名、高千帆地域交流センター46名とありますけど、多分、今までの考え方だと、多ければ多いほうが成功って思っていたと思うんです。これからは、やっぱり会場を開けるだけのスペースと人数の関係を考えて——例えば高千帆なんか、ぎりぎりでしたよね。これは数字がありますけども、Fテーブルなんか10人います。もう本当ぎりぎりでしたから、場所の広さを考えて、1人当たり何人ぐらい誘うかというのを考えないと、むしろそちらのアプローチのほうがいいかもしれません。以上です。

森山喜久委員長 そちら、今言われたところですよ。参加人数のところは、今言われたところ確認になりますんで、これから、場所の選定も、また皆さん方で様々な意見があったので、その場でそのときに協議をしていきたいと思えます。ほかにはよろしいですか。

高松秀樹議長 本山地域交流センター22人って書いてあって、テーブルが5テーブル5人、5人、2人、5人、5人ってあるじゃないですか。何で2人なんですか。

森山喜久委員長 このとき、最初にCテーブルに3人いらっしゃいました。その3人の方々プラス2人で5人だったんですけど、その3人の方々が、「後で連れの方が来る」ということでしたので、自主的にEテーブルに移動されて5人になったと。Cテーブルはそのまま残られた2人ということですよ。

高松秀樹議長 それともう1点、議会を代表する立場から言うと、先ほどの白井委員の意見なんですけど、僕の考え方とは全く逆です。会場に見合った人数を調整しなさいという意見だったと思うんですけど、まずそれはなかなか不可能なんですよね。誰が何人連れてきて、どこに行くかってのが分からない。それ以前の問題で、やはり多くの市民の方に来ていただきたいということであれば、極力多くの人に声をかけて、会場を変更していくほうが筋なのかなというのが私の意見ですので、これは今後、次の議会報告会の会場セッティングするときに、ぜひ皆さんの中でよく協議していただきたいと思います。

白井健一郎委員 私は、場所とか場所の広さとか、それから、何人の市民に対して何人の議員がついたらと考えたら、テーブルの数は、もう必然的に限界がありますよね。そういう全体も考えながらやったほうがいいと思うんです。というのも、私は別に人数が多過ぎるのが悪いと言うつもりは一切ありません。むしろ、本山地域交流センターの22人は少ないなって、残念だなって、そういうことなんですけど、それはもちろん、広い場所を探すことができれば、それはそれで全然オーケーだと思っています。

宮本政志委員 委員長が今日のこの付議事項1の「議会カフェについて」って、物すごく意味合いが広いんじゃないけど、次のページの資料とさらにその次のアンケート集計の資料を基に、何を今日は進めて、何を決めたいのか。先ほど白井委員は、人数を交流センターの規模に合わせて人数制限した

らどうかというふうにおっしゃったね。その後でそれについての議論に入らず、議長は、会場を変えて、人数はやっぱり多く呼ぶのが本意ですよっておっしゃったわけでしょ。委員長、まずは会場について、先延ばししたって、3月定例会が終わって、4月の終わり頃にするかどうかという、間に合いませんよ、4月に入ってもし会場がどうこうとなったら。だからその辺りを少し論点整理して、決めていくものは決めていかないと、白井委員の意見と議長がおっしゃった件の結論を今日出さずに、会場決めるときにしたらおかしくなるよ。私はそもそも、議長が仮におっしゃらなかったとしても、そもそもがこの広聴特別委員会で、議会報告会は何のためにあるかって考えると、広く市民の意見を聴くためでしょうと。70人がいいか、100人がいいかってなれば、多ければ多いほどいいでしょうと。会場が狭いから、「すみません、人数を少なくします」というのは本末転倒だと思う。だったら、サンパークなり、どっかの体育館なり、もっと大きな会場を選んで、そしてぎゅうぎゅう詰めにならないように、あるいはもっと多く呼べるじゃないかって、呼ぶ方法はどうかという、少し論点整理しながら進めていって、例えば周知のやり方とか、会場をどうするかとか、あるいは全体的にどうだったかって、少しずつ論点を分けていって、決めるところは決めていったほうがいいと思うよ。今、会場の件が出ているわけでしょ。会場の件は、別に交流センターって要綱にうたっていないよね。場所までは。ただ、原則6会場だったかな、そのようにうたっているだけだけど、それはあくまで原則論で、必ずしもそうではなく実態に応じて変えればいいことだから、人数をもっと呼びましょう、呼ぶんなら交流センターでは狭いですね、場所を変えるんですか、あるいは時間をずらすんですかというふうな議論で入っていけばいいんじゃないですか。僕は増やしていく方向の前提でいったらいいと思うけどね。

森山喜久委員長　せっかく頂いた意見なので、資料の中に広報特別委員会、意見交換会のまとめという形で作成した資料を出していただいてもいいですか。取りあえず読ませてもらいます。議会カフェの①周知方法で、ポ

スターとかチラシとかについては、ポスターを貼った意味があったのか、多くの人が議員の声かけによって来たのではないのかという意見もあると思いますが、やはりポスターを貼るという周知が大事だということ、そして、そういうポスターを貼りながら雰囲気づくり、議員の意識づくりをしていって、効果を高めることが必要ではないかと思いました。そして、地域交流センター以外にもサンパークなど、掲示場所を増やしたらどうかと考えております。チラシを見て開催を知ったというアンケート結果もありました。②視聴用動画資料という形で、ユーチューブ動画の感想で、文字が見えにくい、声が聞きづらいなど、分かりづらかったという意見が多かったとあります。実際、作成するのはとても大変ではありますが、ただ、その一方で、委員会審査の雰囲気がすごく伝わるということ、臨場感があったという意見も多かったです。それを鑑みて、市民生活に密着したものを取り上げながら、質が高いもの、興味のあるものにしたらどうかということ、そして動画については、資料がついていなかったのも、その動画についての資料も必要だと感じました。そして、③の会場設営につきまして、全体で想定よりも参加人数が多かったと。地域交流センターの会場規模、駐車場の確保が今後の検討課題であること、理科大やAスクエア、サンパーク等の人が集まる場所で議会カフェを開催することも検討してはどうかという意見もあります。そして、どうやったら市民が来やすいか、年代はどうなのか、民間施設を利用する場合には、予算の問題があるとは思いますが、その課題も出てくるということですので。そして、このたび議員がほぼ全員参加していたために、参加者の人数が多くてもそれなりに対応ができてよかったと思います。そして各テーブルのことですけれど、記録はやめてもいいのではないかと考えましたし、録音対応で十分と感じました。そして最後になりますが、最後にテーブルごとの発表を全体でしてしておりますが、それが必要なのかなということで、要点筆記、そして、その発表が少しちぐはぐだったと感じております。3常任委員長をテーブルの固定から外していたので、各テーブルで質問や疑義があったときに呼ぶことができ、心強かったと思っています。そして、ただ、残念なことに、議員が事前の準備をして

いないところが多々見受けられたのかなというところで、委員会審査等の復習をしていない、資料も持っていない、会議等の粗原稿を送っていても読まれていないのかなということも、全員ではありませんが、幾つかのテーブルで見受けられたと思っています。ルール of 徹底を改めてする必要はあるのかなというところで、このたびやっぱ議員が持論を言い過ぎて長くなったとか、市民の言うことを否定しているような状況もあったのかなと思います。テーブル進行について、何人かの方にテーブル進行の役割が集中していたんですけど、全体的に進行の勉強は必要なのかなと思いました。少し言わせてもらったんですけど、議会カフェの周知方法から、また皆さんの意見を頂きながら、先ほど少し出た会場設営、会場のキャパシティーの関係は、③で話させてもらいたいと思いますが、よろしいですか。

宮本政志委員 委員長、それじゃおかしいよ。より多く呼んでいく前提で、さあ会場をどうしますかという議論と、そんなに人数をいっぱい集めても入らないんだから、人数制限をという意見もあったわけでしょ。その結論をもって考えないと。だって、周知に力を入れていきましょうということは、市民をたくさん呼びましょうという前提で議論に入らんといけんのやろ。僕は、周知に力を入れていくべきと思うよ。だから、ここに書いてあるところに関しては、こうやっていきましょうって議論に入りたいよ。ところが、ほかの委員の皆さんが、いやいやそうじゃなくていっぱい来たら困るから、交流センターで人数を制限してやったほうがいいという結論が出たら、周知に力を入れる必要はないから、議論が無駄になるよね。だから、さっきから委員長も全部読んだけど、これでばって入ったらこうなるなと思ったんやけどね。まずは、委員会がどうするのか。市民の方をより多く呼んでいこうという前提なのか、人数を制限してとなるのかは、きちんと意思統一していたほうがいいんじゃないですか。何度も言うけど、私は、多くの市民の意見を聞くのが本来なんだから、たくさん呼んでいきましょうという前提です。それに当たって、会場をほかで選ぶのか、あるいは今の会場で何か方法がないのかという

議論をし、呼ぶに当たって周知をどうするかという、そっちのほうの議論に入ってもらえませんか。

森山喜久委員長　そうですね。ありがとうございます。会場設営の全体にも関わってくるんですけど、会場のキャパシティを含めて、参加人数が多かったという部分は、やってきてよかったという意見もありました。二度目だけど、次も来たいという市民の声もありながら、ただ、今まで知らなかったという声もありますので、できるだけ多くの方に参加していただきたいと思っています。その上で、会場の利用を含めて考えていきたいんで、委員の皆さん、意見を教えていただけたらと思います。

奥良秀委員　このたびは、議員も一生懸命に頑張って、多数の人に来てもらってよかったと思うんですが、会場がすごく狭かったというのがあります。ですから、地域交流センターだけにとどまらず、例えば、使えるのであれば、各地区には小学校や中学校があって、体育館とかいろいろ大きい施設もあり、多く集められる場所はいろいろありますので、検討していただきたいなと思います。だから、多くなる分には多くなる器をまた準備していけばいいのかなと思っています。多くといっても各いろいろな地区の方が集まって、いろいろな要望を言われる機会もこの議会報告会のメリットの一部だと思いますので、その辺も兼ね合いで考えていただきたいと思います。

森山喜久委員長　多くなるほうを求めて、その形をつくったらどうかという御意見です。

藤岡修美委員　今回の実績で一番多いのが、有帆の65人でした。その程度をめどに目標を定めて、会場を考えていったほうが戸惑わないと思います。

森山喜久委員長　65人のところまで一定程度の上限をという形でということですね。

白井健一郎委員 今の藤岡委員の意見がすごくよかったですと思います。どこがい
いかというと、多分もう具体的な話を進めないで、何人だとか場所はどこ
だとかって、漠然と小学校を借り入れるといっても、その手続が間に
合うかとか、誰がやるのかとかという大変な問題もあるし、やっぱり何
人ぐらい集まる場所を確保できる、そこにちょうど入るぐらいの人をと
いうこと。もう一つ論点としてあるのが、議員が誘うのか、それともポ
スターやチラシで、不特定多数の人にアピールするのかわかるかというところ
です。議員が誘ったら大体皆さんノルマを達成すれば、大体の数は集
まると。それだけでいいのか。もう少し裾野を広げようじゃないかって
なると、ポスターやチラシになりますよね。

高松秀樹議長 質問なんですけど、藤岡委員が、65人とか70人とかをめで
ると言われましたが、それって調整できるんですか。議員の21人、み
んな21人で言うんですか。藤岡委員だけやったら分かると思うんです
よ。あなたは有帆ですよと、あなたは高千帆ですよって。その21
人を調整することは、まず難しいというのが一つ。今からポスターやチ
ラシで不特定多数の市民の皆さんに来ていただきたいと。この想定が恐
らくできないですよ。ということは、より広い会場を使うということ
ぐらいしかできないんじゃないかなと思います。その部分が質問です。
想定できれば、それでやるのが一番いいかもしれないです。みんなを調
整して、僕は5人で、ここここ。私はここで、全員何か所に何人です
よね。でも、プラスアルファのポスターやチラシで来られた方は接触で
きませんから、分かりませんよね。でも、今から皆さんはそうやって議
員の動員だけじゃなくて、ポスターやチラシも含めて認知活動の一つの
ツールとして使いましょうというのであれば、それを見てから来られる
人も今度はいらっしゃる。そういう方が多くなると、なかなか難しいん
じゃないかな。有帆地域交流センターのあの場所は無理ですよ。前回「体
育館を押さえられるんですか」とセンター長に聞いたら、「押さえられ
ますよ」ということでしたから、奥委員が言うように、そういう広い会

場をずっと使っていくという議論のほうが分かりやすいんじゃないかなという気がしますけどね。

宮本政志委員 今、何人かの委員からは、人数制限するんじゃなくて、なるべく多くの市民の方に言いましょうという委員会の方向性は分かりましたので、場所に関しても、先ほど奥委員がおっしゃったように小学校の体育館もあればサンパークもあれば、あるいは4月からAスクエアもせっかくオープンするのであれば、そういう会場を早めに探していかないと、予約の関係もあるでしょうし。そういう方向性に絞っていきましょう。あとは、さっき白井委員が言われたように、ホームページやチラシといったものでとにかく周知して、どんどん人を呼ぶ方向性と並行して議員もこの人数を呼ぶと、非常に多いんだよね。議長と恒松議員と福田議員が物すごく多いよね。私はそんなに多くないんだけどね。つまり、少ない議員と差があり過ぎるから、そこをどう調整していくのか、あるいは調整せずに、議員は前と同じく、広聴特別委員は1人につき5人で、そのほかの議員に関しては3人をノルマとするか。その辺りの方向性も決めていきましょう。

森山喜久委員長 できるだけ広い会場と言われた中で、前回も有帆地域交流センターに隣接している体育館とか、地域交流センターでもアリーナとか体育館とかがある場所もあるので、そちらでできるところもあると思います。広い会場で思い当たるところがあれば——Aスクエアがどれぐらいのキャパシティーなのかは確認しないと分からないんですけど、例えば厚狭地区複合施設や埴生地域交流センターの会議室は、80人とか100人とかのキャパシティーだったと思っていますので、それ以外に、ここの会場もいいんじゃないかというのがあれば教えていただければ、次の会場の候補として挙げていきたいんですけど、どうでしょうか。

宮本政志委員 サンパークなどは、費用の関係を抜きにして少し気をつけないといけないのが、前は、本山、有帆、厚陽、高千帆の地域交流センタ

一でしたよね。その前があるから、例えば、場所選びをするのに、また有帆や本山の辺りを選んでしまうと、2回連続となってしまって、なかなかほかの地域に回っていかないというのがあるから、そこも含めて決めていけばいいんだけど、まずは場所ですね。

奥良秀委員 あんまりばらばら言ってもあれなんですけど、教育委員会所管の小中学校の体育館は、フロアに上がるにしてもスリッパが要るとされるし、いろいろあると思うので、例えば、不二輸送機ホールのように、なるべく靴を脱がないで、なおかつ人数を集められる場所——さっき言った体育館は、日中は小中学校で授業があつて、夜だけ借りるようになるので、いろいろ考えるところはたくさんあると思います。

前田浩司副委員長 今は2日にわたって4会場ですよ。今後、議員が声をかけて集めるということではなくて、いずれは広報とかSNSとかといった媒体で皆さん方が集っていただくような方向に持っていけるようにということを考えると、できれば、山陽地区2会場、小野田地区2会場で開催したほうがいいと思います。学校関係の体育館をはじめ、いろいろな話がありましたので、その辺で進めていけばいいんじゃないかと思えます。

白井健一郎委員 そこを私も少し疑問に感じていたんですけど、4か所なのか、もっと増やすのかで、例えば議員のノルマを設定するんだったら増やすこともできますし、その辺はどうなんでしょうか。

宮本政志委員 白井委員が言われるように増やすんじゃないに、別に減らしてもいいと思うけど。人数をどんと増やす、ノルマを増やして、人を呼んでと。それだったら、Aスクエアに200人ぐらい入るとして、そこでやりましょうとか、別に4か所で限定しなくても、今、白井委員がおっしゃるように増やすのか——僕は別に2か所でもいい。小野田地区、山陽地区で絞ってもいいけど、その代わり人数を呼ばないといけない。

というのは、この後どうやって呼びますかというほうに入っていけばいいだけだから。その辺り委員長で進めていってください。別に4か所でもいいし、そこの議論を進めていきましょう。

白井健一郎委員 話は戻るんですけど、例えば、1テーブルに議員が3人つくとして、議員が21人が全員ついたら7テーブルしか設置できないんですが、これで常任委員長を外すと、もっと数が減ります。だから、7テーブル、6テーブルしか設置できないときに、例えば10人座っても70人で、もっと増やそうと思ってもうまくいくのかどうか疑問があるんですけど、その点どうでしょうか。

森山喜久委員長 そうですね、白井委員の言われた意見のところ、21人で議長を除いて20人、各常任委員長3人を除いて17人で、それを3人1組にするのか、2人1組でやるのかという考え方も出てくるとは思いますが、その辺での割り振りを考えることができると思います。ただ、どちらにしろ、会場としては大きいところに人を集めるという方向性は一致したと認識しております。そのときに、4会場がいいのか、2会場がいいのか、6会場がいいのかというのがあると思います。ただ、6会場とか8会場とか、広げれば広げるほど、議員全員の拘束時間が長くなるのかというところで、4か所程度で人を集めて行うとしながら、地区で交代していくというところも考えてもいいのかなと思っています。

藤岡修美委員 白井委員の意見もあったんですけど、議員側のキャパシティで、例えば議員1人につきテーブル一つにして、最大21テーブル……6人……その辺も少し考えて。最悪、一テーブルに議員1人になるのかなという感じもする。その議論も要るのかなという気がします。

森山喜久委員長 その場合は1テーブルに議員入れて6人か7人かということですね。であれば、100人来ても大丈夫ということですよ。今の意見を含めて、皆さんどうでしょうか。

中島好人委員 多くの人に参加してもらおうというので、会場は広い所でやるというのと、また場所によって違ってくるし、会場についても、4か所から6か所やるということで、会場の都合もあるわけですから、議会基本条例にのっとって進めるということでもいいんじゃないかと思います。ここで細かく決める必要はないと思っています。

白井健一郎委員 ただ、やっぱり時間をかけて話し合っているわけですから、一つ一つ形として、残していくことが大切で、そうじゃなくても、何時間あっても足りないってことになりますから。事務局長、Aスクエアの会議室って何人ぐらい入れるんですか。一番広いところで。

河口議会事務局長 先ほど議長も言われましたけど、例えばコミュニティ体育館を利用する場合は、3か月以上前に予約を、何日間か予定に入れてもらったほうがいいというセンター長の話もありましたので、年間で、どこの場所にどうやってやるんかということはある程度決めてもらおうと、場所も取りやすいです。この間まで開催していた地域交流センターであれば、この間ぐらいの予定でも空いていなかったというのがありました。いろいろ当たってみて、それでも4か所予約できたということもありますので、どこまで予定を含めるかってのもありますけども、その辺も含めて検討していただければと思います。

森山喜久委員長 そうですね、場所のところとお互いの都合が合わないというにもならないですね。

奥良秀委員 今のお話を聞くと、もう先に日程を決められて、予約を入れる方向で話を進めていかないと、なかなか難しいのかなあというところが見えてきたのですが、いかがでしょうか。

森山喜久委員長 はい、分かりました。暫時休憩します。

午後 2 時 2 6 分 休憩

午後 2 時 4 0 分 再開

森山喜久委員長 休憩を解きまして、再開します。まずは、何会場で行うのかを方向性として決めていきたいと思います。このたび、2日間4会場で行いました。先ほど、大きいところで2会場にしてはどうかという意見、6会場にしてはどうかという意見もありましたが、今回どおりでいくのか、会場数を減らしていくのか、皆様方の意見を聞きたいと思います。

前田浩司副委員長 今までどおり、4会場様子を見てよろしいんじゃないかなど。希望は、山陽地区から2会場、小野田地区から2会場ということでいかがでしょうか。

森山喜久委員長 そういう意見が出ましたが、ほかには。取りあえず4会場という意見が出ていますが、ほかにも2会場、6会場という意見があったと思うんです。方向性として、取りあえず今回も4会場でいくということでもよろしいですか。会場につきましては、先ほど出てきた候補で、Aスクエアとかサンパーク、不二輸送機ホールなどの会場と、あと各地域交流センターのコミュニティ体育館とか、そういったところを検討するという方向性でもよろしいですか。

藤岡修美委員 今回の議会報告会のように、たくさん集まるのが初めてだったので、当面、副会長の意見で小野田地区2会場、山陽地区2会場をやってみるという形と、会場については、森山委員長が言われたように、何人が来ても大丈夫な会場を当たっていただくということでいいかなと思います。

森山喜久委員長 一過性なのか継続性なのか、継続してまた広げていきたいと

いう思いは重々ありますが、このたびは2日間4会場の方向で進めさせていただいてよろしいですか。（うなづく者あり）では、進めたいと思います。時期については、私と事務局とで、ゴールデンウィーク後で日程調整したいと思いますが、一任していただいてよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、皆さんに提案したいと思います。議会カフェの周知方法ですけど、ポスターやチラシの関係で、記載している以外に意見がありますか。

中島好人委員 ポスターの関係では、ないほうがいいんじゃないというのはあったけど、来るか来ないかは別として、議会が議会報告として市民に呼びかけているんだということも重要な役割を果たすんじゃないかと思うんですよね。だから、重視していったほうがいいんじゃないかなと思っています。

森山喜久委員長 ポスターを引き続きやっていくのと、掲示場所を増やしていくという方向性も含めてということでもよろしいですね。（うなづく者あり）ただ、ポスターやチラシは、今回以上に各対応を求めていくという方向性でもよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかはよろしいですか。ポスターやチラシの関係は。

高松秀樹議長 中島委員の意見に非常に賛同しております。もちろん来られない方もいらっしゃるんですけど、市議会がこういう活動をしているという非常に強い認知活動になると思っています。すみません、私はよく分からないんですが、どのぐらい貼ってあるか、その効果がどうなんだろうかという検証がまず必要なことと、このチラシについては、回覧版の班回覧とか、こういうのは可能性があるのかないのかとか、その辺の議論を少しされたほうがいいのではないのかなという気はします。

森山喜久委員長 自治会の回覧の関係、班回覧をどのようにできるかは、事務局を通して確認したいと思います。ポスターの掲示場所は、この前20

か所ちょっとだったと思います。それに、山口銀行小野田支店、小野田駅前支店も増やしていただいたんですが、効果があったかどうかは、掲示した場所に問合せがあったかを確認する必要があるのかなと感じます。一覧表では多分29か所あって、山口銀行で2か所、ローソンで3店舗、私も厚狭の商店街で1店舗貼ってもらったので、多分35か所ぐらいには貼ってもらっていると思います。ただ、公共施設がほとんどで、そこでどれぐらい効果があったかは不透明なところがあるので、地域交流センター等にも確認していきたいと思います。皆さん、この辺で意見を聞いたというのはありますか。特にはないですね。

藤岡修美委員 先ほどアンケートの集計の中で、チラシ・ポスターで12名お見えになったという結果が出ていますので、何らかの効果はあるんだと考えます。

白井健一郎委員 前回のポスターやチラシはどのようにして作成したんですか。誰か得意な人が作成したんですか。

森山喜久委員長 いや、こちらのほうで作成しました。前回は私が作成して提示しました。カラーコピーもして、皆さんで配布したということです。では、ポスターについては、掲示場所を含めて、今後改めて増やすかどうかも含めて、次回、確認したいと思いますし、そのときに班回覧できるのかも回答したいと思います。

奥良秀委員 改めて考えますじゃなくて、今度やるときにはまた新規で貼るところを持ち集めて検討したほうが、効率がいいのかなと思いますので、そのようにしていただきたいと思います。公立の保育園であったり幼稚園であったりといったところは、お母さんとか若い人とかが集まって来られるところもありますので、効果的じゃないかなと思っています。たまたま、ねたろう保育園を視察することがありましたので、確認したところ、別に貼ってもらっても構わないという話は頂いております。以上

です。

森山喜久委員長 はい、ありがとうございます。

高松秀樹議長 大多数の市民は知らないのが事実だと思うんですよね。だから、今日じゃないんですけど、次の議論のときには、森山委員長は、周知方法でポスターやチラシって固定して話してはいますが、まだありますよね。ホームページもですし、いろいろあるでしょう。それを一覧にして出してきた、そしてどうしましょうかという議論をしないと、広がっていかないの、そこはぜひお願いいたします。

森山喜久委員長 はい、了解しました。

前田浩司副委員長 次回、アンケート集計の中に、今のポスターの後ろにどこの会場かというのを書いていただけるようにしていただくと、何となくここに人が来ているんだとか、見ていただいているんだとか分かると思います。逆に数字が上がってないということは、地域の方は興味がないということなのか、在り方に何か問題があるのかということをやフィードバックできるので、そういった取扱いを考えられたらいかがでしょうかということ。アンケート集計の中に、掲示ポスター（発言する者あり）その中に括弧して、どこの会場というふうなものが明確になってくると集計というか、どんなところで皆さんが見ておられるのか、どんな機会に議会カフェの情報を仕入れられたのかとかというのが、もっと細かく見られるのかなということで申し上げました。

森山喜久委員長 取りあえずポスターを増やしていきたいと。先ほど公立保育所や幼稚園という話もありましたので、委員の皆さんからも、こちらはどうかなどの意見を頂きたいと思います。次に、視聴用動画、資料の関係に行きます。ユーチューブ動画については、先ほど述べましたとおり大変だったと思いますが、動画についての資料が必要というところもあ

りました。こちらについて、御意見ありますか。

白井健一郎委員 作成してくださった森山委員長には、非常にありがたいと思います。（発言する者あり）3 常任委員長が作成されたんですよね。ただ、大変さは分かっているんですが、あえて見ている側からの要望を言うと、当たり前ですけど、自分がしゃべっているところを映してほしいと。総務文教だったら特定の方がずっと進めるような形で、2 人ぐらいでしたか、出てきたのが。委員は7 人いたと思うんですよ。そういうことです。もうちょっと感想を言いますと、民生福祉はたしか音を早送りしていたのか、ちょっと聞こえにくかったかなと思いますし、手持ちの資料のホッチキスの場所が少しおかしかったというか、きれいに並んでいませんでした。表があったんですけど、紙の表裏で3 枚か4 枚ぐらい。それが、その動画に合わせてうまく並んでなかったなどの問題もありました。

奥良秀委員 2 番に関しまして、ユーチューブ動画で委員会中継を流したんですけど、ユーチューブで見る分にはいいのかなというところは思うところありました。ただ、それを議会報告会のテーブルで見るというのはなかなか難しいのがありますので、改善の余地があると思います。動画ですから、なかなか見えにくいとか、動きが速いとか、あとは、ここに書いてあることなんですけど、そういったこともその場で見た限り改善点は多々あったなと思いますので、今後またいろいろ改善していけばいいのかなと思います。ただ、今のままでは、また御指摘を頂くような内容だと思います。

白井健一郎委員 結局誰が作成するのかという問題が一番大切だと思うんですよ。前回どおり常任委員長に任せていいのかというところが問題だと思うんですけど、それはよろしいでしょうか。去年までの民生福祉の場合は、動画じゃなくて静止画を10 枚ぐらい並べて、それで下に文字でその説明を書いて、音をつけて順番に流していったんです。しゃべる

のがうまい人が原稿を読んでくれという形でやっていました。動画と比較したら、静止画の場合は静止画自体が手元にあるわけで、皆さんにとって分かりやすいと思いますよ。手元にあるというのは大きいと思うんですけどね。私の場合はそう思います。

森山喜久委員長 静止画の話もあつたんですけど、ただ、やっぱりこの委員会審査の雰囲気がすごく伝わるというのが、感想の中でも多かったと思います。その中で、出ている今回の視聴用動画は、あくまで一部であって、それを通じてほかの動画、つまり委員会審査や本会議中の一般質問を伝えるきっかけの一つにもなつたと思うんですよね。今回だけの一過性になるのではなくて、もう少し動画を続けていきながら、次は、例えば今回動画について資料がなかったから分かりにくかったという意見もありましたので、資料をつけてやってみるといふことも考えながら、より質の高いものに、また、市民の皆さんのニーズに合うものにしていきたいと思います。ただ、その中で、一人一人また順繰り回すとなつたら、どうしてもなかなか質の高いものに上がっていかないと思いますので、そちらは申し訳ないんですけど、3 常任委員長に踏ん張っていただきたいというのが個人的な意見です。皆さんどうお考えでしょうか。

藤岡修美委員 作成するのはやぶさかではないし、委員会の雰囲気がすごく伝わるというのは分かります。ただ、文字が見えない、声が聞きづらいというのは、今のソフトではどうしようもないのかなと感じます。

森山喜久委員長 声が聞きづらいのは、早送りした箇所を特に言われていたのかもしれないし、雑音みたいな部分もあつたというのは聞いております。ただ、今は画質を少し上げているので、少しは改善されるのではないかと思います。大変と思いますが、もう 1 回チャレンジしていただいということですよ。先ほど白井委員からもありましたように、特定の委員の質問だということも言われましたが、そこに挙げられるような質問とかも含めて、各委員会でも審査を深めていただきたいと思います。よろ

しいですか、視聴用動画の関係、資料の関係、気づきは。（うなずく者あり）では、視聴動画については終わりました、会場設営におけるテーブルになりますが、基本的な方向性としては、記録とテーブルごとの発表については、しなくてもいいのではないかと認識しているんですが、皆さんどうでしょうか。その方向性でよろしいですか。

奥良秀委員 確かに今回みたいにたくさんの方が来られて、たくさんテーブルができたときに、最後の発表というのは、テーブルが多くなればなるほど発表の時間もかなり増えて、時間が足りなくなりますので、時間を増やせばいいという話にもなるかもしれませんが、なおかつ発表するほうも、きちんとできている方、できていない方、長い方、いろいろあると思いますので、ここはなくして録音だけにされたらいいと思います。

白井健一郎委員 テーブルの中で、どういう進行で回していくか、あるいはどのように意見を引き出して正確な答えをするか、こういう問題というのは、質を担保する上で一番大切なことだと思うんですね。今までずっと議論してきましたが、例えば、先ほどから議員を一つのテーブルに何人置くかって話で、「俺は1人でできるから1人でいいんだ」とか、「2人だよ」とかありました。例えば、個性的な組合せでもいいと思うんですよ。私もある議員と一緒にあって、ある議員が司会進行をしたときに、その人は1人で仕切って、ほとんど全部しゃべってくれました。それでも、そういうときは正確な知識でした。ですから、あんまり自分自身、自分が司会するにはちょっと自信がないなという人がサポートについて勉強する、あるいは、私みたいに当選回数が少ない人間が、ちょっとまだよく分かっていないというときには、できる人がサポートについてやるとか、そういうふうな個性を入れた組合せにするのもいいと思います。さっき少し言いましたが、テーブルの議論の質を確保するのはすごく大切なことで、来たのはよかったけど、いかげんな感じで終わったら、一気に評判が落ちてしまうと思います。一定程度の質が保障された議論、答え、そして進行、やっぱりさすが市議会議員の皆さんだっと思われた

いですよね。そういうことも含めて意見しましたけれども、ほかの人はどう考えますでしょうか。

中島好人委員　ちょっとかみ合わないかも分かりませんが、僕は厚陽のときにフリーだったんですね。司会も書記もなかったんですけども、やっぱりテーブルについた人の全員からの発言を目指して、このとき全員が発言したんですよね。だから、ここにあるように、記録をうんぬん言うよりも、全体の雰囲気全員が発言できるようなところも、司会には申し訳ない点もありましたけども、何かそんな雰囲気だったので、その辺のところの配慮というか、マニュアルもそういうのがあったと思いますよね。その辺のところをもう一度確認し直すことが大事なんじゃないかなと思いました。かみ合うかどうか分かりませんが。

森山喜久委員長　ルール徹底を再三言わないといけないというのは、このたび改めて思ったところですよ。その辺でまたマニュアルも早めに提示しながら、皆さんに徹底したいと思います。

白井健一郎委員　今から言う意見は、ちょっと突拍子もないことかもしれませんが。私は、まず総論的に、議会報告会というのは、本当に貴重な機会だと思うんです。どういうことかという、それはもちろん、市民に、議会のやっていること、普段活動していることを報告するって、それはもちろんそうなんですけど、そうじゃなくて議会内の人間関係という面において——私は議会というのは、最近、ちょっと感じ出したのは、何かこう遠心分離機のように外側にみんな逃げる形で、人間関係と会派ごとか、私みたいに会派に入っていなかったら、またそれは違うんですけど、とにかく、何となく皆さん距離が空きがちになる。当然、政治というのは甘いものじゃないというのはよく分かっています。やっぱり議論でも何でも、数を取るという意味での戦いの場だって分かっていますが、やっぱり何となくギスギスする。それを、議会報告会というのは、みんなが議会のためにうまく一つの作品をつくろうという場だと思うん

ですよ。だから先ほど言ったように、2人、3人で、その一つのテーブルをつくるなら協力し合って、フォローし合って、いいものをつくろうってみんな思って、意見がずれたかもしれませんが、私はそういうことを強く感じるんですよ。だから、さっき言ったように、どのテーブルに誰がつくかって、個性として考えて、得意分野や不得意分野がそれぞれありますから、人間関係を円滑に回すのが得意な人がするといったようにすればいいんじゃないかなと思っています。

宮本政志委員 さっき奥委員は、この各テーブルの記録をやめるべきではないかということを行ったわけですね。これに委員長案としたら記録をやめるべきではないか。録音での対応で十分ではないか。つまり議会報告の各テーブルの記録は録音から十分つくれるってことを言っているんですよ。それから、テーブルごとの発表が必要なのかどうなのか、要点筆記の意味が分かっているのかってことを書いているわけですよ。だから、私は結論からすると、まずテーブルの記録は必要ない、議員が記録する必要はない。記録方法はICレコーダーで十分でしょうと。1回、各テーブルの発表というのはやめる。なぜか。要点筆記になっていない。何を言っているのか分からない、時間は取る、市民からは、「自分たちのテーブルではそういう議論になっていない」、あるいは「もっと大事なことを議論したのに、なぜそれを発表していないんだ」という意見もいっぱい聞いているので、次回の報告会では、テーブルの記録はボイスレコーダーのみ、各テーブルの記録発表はなしの方向でいいと思うよ。仮に1回やってみて、多くの市民の方から、せっかくテーブルで我々が議論したことは発表して、ほかの方にもきちんと知らせよという御意見が多ければ、またそのときに議論すればいいと思います。僕はもうやめるべきと思うね。白井委員、あんまり論点がずれてもいけないから、テーブルの記録と発表をどうしようかということだから、そっちの結論を出してください。

森山喜久委員長 記録については、ICレコーダーで、発表は次回のときはし

ない方向で、皆さん方、よろしいですか。（発言する者あり）ほかの委員の皆さん、よろしいですか。（うなづく者あり）次回は、そういう方向で行きたいと思います。それ以外にテーブルのところで気づきはありますか。

白井健一郎委員 ルールの徹底をする必要があるとありますが、これをもう少し具体的にお願いします。個人の意見を言わないということですか。

森山喜久委員長 下にも書いていますが、今回少し目についたのは、議員が自分の持論を言い過ぎて、長々としゃべっていたと。市民の方が発言する内容について、「それは関係ありませんよね」とか、「それは無理です」とかというように、全体を聞かずに否定をするという行為があった。事前に、持論を言いすぎるのをやめましょう、市民の言うことは最初にきちんと聞いてみましょうと話していたのに守られていなかったことから、その都度、ルールの徹底をする必要があると認識しております。このたび若干認識されていなかったところもあったので、議会運営マニュアルで書いた内容をルールとして徹底していくという記載になっています。

宮本政志委員 昔からずっと言っていますよね。ルールで、持論はやめましょう、市民の言うことを否定するのはやめましょうって。会場でも当然始まる前にはみんな集めて言うよね。それを守らない議員も多いわけよ。それと、録音を聞けば分かるんよ。持論をだらだら言っている議員は、大体決まっています。前回もあったけど、市民の方の意見を否定するって、録音を聞いたら市民の人はやっぱり気分が悪いよ。ルールを守りましょうって守れない議員がいるんだったら、委員長が録音を聞いて、直接注意した方がいいですよ。あなた再三ルールを守ってくれて言っていますと。そのルールの中で、持論と市民のことを否定すること以外でも、ルールを守っていないことが見受けられたら、直接その議員に委員長から注意してください。聞かなければ、ルールを守らない議員はもう

今度は公表したらいいですよ。

中島好人委員 ユーチューブでの動画、要するに各委員会の動画を載せますよね。それを見終わった後、感想をとという話ですが、感想じゃなくて、今の動画の説明を同じように長々とする。あれは、もう簡潔に補足でぱっぱと短時間で終わらせる。長々と見たやつを説明する委員がおる。だから、この持論を言い過ぎるといのは、持論じゃなくて、説明は短くせよと。もう説明しないで「どうですか」っていきなり言う議員もいます。だから、その辺のところは、言うなら簡潔にといのは、ルールの中に入れておくべきだと思います。結構多いんですよ。

高松秀樹議長 少し気になったことがあるんですが、市民からこういうふうに言われたんですよ。「ある議員が、「実は、私は反対やった」、「賛成やった」と自分の意見を言う。そういう運びでいいんですか」って。僕が以前思っていた運びは、議会としてだから、私見または自分の態度表明がなぜなのかって言うべきじゃないんじゃないかってなっていたんですけど、逆に言うと、違う市民からすると、「いや、あなた、どう思っていたんですか」というときに、意見が本当に言えなくていいのかなという気もするんですよ。もちろん、私は反対したから、今でもそれについてどうのこうのって話じゃないんですけど、そこはちょっと今日の話じゃないにしても、議会全体としては、それは駄目ですけど、一議員が発言する上で、「実は僕は反対でした。なぜなら、こうです」というのをアウトにするのかどうなのかといのは考えないといけんないような気もしてきて、それをまた委員会の中でしっかり話し合っていた方がいいのかなという気はします。

中島好人委員 「あなたは」って聞かれてはいないんだけど、「反対の意見も一部ありました」と答えたのはあります。これは水道の問題で、「あなたがどうされた」という質問じゃなかったけども、「委員会の中では反対の意見も一部ありました」と答えた経緯があります。

高松秀樹議長 議案じゃないので議長として少し発言させてもらっているんですが、過去にもそういう事実があったと思うんですよ。例えば、市民が、「中島議員、議案にあなたは反対されたんですか、賛成されたんですか」というときに、「いや、私の意見は言えないんです」と言ってしまって本当にいいのかどうなのか。そういうときがあると思うんですよ。今のは少し直接的だったんですけど、もう少し間接的な言い方で、「言えないんですか」ってなるのがいいのかどうなのかというのは難しい問題になってくるんじゃないかなという気はします。

森山喜久委員長 そうですね。こちらについてはまた今後、また、どこまで認めてどこまでしないかと……（発言する者あり）そうですね。

高松秀樹議長 「言えません」で市民が納得できるかという話です。何しに来たんですかっていうことになり得るんじゃないのかということですよ。

森山喜久委員長 今のは持ち帰って、また検討していきたいと思います。森山作成の手持ち資料は以上とします。5分ほど休憩したいと思います。

午後 3 時 2 0 分 休憩

午後 3 時 2 8 分 再開

森山喜久委員長 休憩を解きまして、再開します。皆様方の手元に、議会カフェの報告書が①から④まで、そしてアンケートの一覧表があると思います。そして、市議会モニター意見交換会の報告書、こちらについても、4か所での報告書があると思います。こちらについては、気づきや意見もあると思いますので、持ち帰っていただいて、再度確認していただいて、来週3月1日までに私に意見を出していただきたいと思いますが、

よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、3のその他に行きます。何かありますか。次回の開催は、一般質問の週のところに入れていきたいと思えます。状況を見ながら、皆さんと日程調整をしたいと思えますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、以上をもちまして、広聴特別委員会を終えたいと思えます。お疲れさまでした。

午後 3 時 3 1 分 散会

令和 6 年（2024 年） 2 月 2 2 日

広聴特別委員長 森 山 喜 久